



校長室だより

令和6年3月22日 修了式

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」



一年一年の積み重ねを大切に

今日で令和5年度のすべての学習が終わります。この1年間は七小の50周年として、いろいろな取組がありました。新しい校歌もでき、七小の歴史に残る1年となったことは間違いありません。その歴史に残る1年を過ごしてきた1年生から6年生までの全員が集まるのもこれが最後になります。また、七小を去られる先生方とも今日で最後となります。先生方には、後ほど挨拶をしてもらいます。

さて、先日、日本初の民間企業によるロケット、カイロスが打ち上げに失敗したニュースが流れました。民間企業というのは会社のことです。これまではJAXAといって、国がお金を出してロケット作りを行い、打ち上げてきました。これを会社が作るということは、どういうことか。一つのところが成功すれば、いろいろな会社が後が続いてきます。そうすると、どんどん技術が進歩し、莫大なお金をかけずに、短期間で、たくさんのロケットを飛ばすことができるようになるのです。

皆さんは飛行機を発明した人を知っていますか。世界で初めて人が乗った飛行機を飛ばすことに成功させたのがライト兄弟です。今から120年前の話です。その時は飛んだといってもわずか12秒で36mです。4回目のフライトで約1分、260mでした。しかし、ここに至るまでには4000回も失敗を繰り返したそうです。毎日1回ずつ失敗したとしたら、10年以上も毎日毎日失敗を繰り返したことになります。それでも諦めずに挑戦することで、ついに人類の歴史を変える開発をすることができたのです。それから58年後には、人類は人を乗せて宇宙に出ることに成功したのです。そう考えると今回カイロスロケットは失敗しましたが、皆さんが生きている50年の間に、新幹線に乗る感覚でロケットに乗れる日もくるかもしれませんね。

先ほど修了証を皆さんに渡しましたが、そこには、この1年間で皆さんができるようになったこと、成長したことがたくさん書かれています。これからの課題も書かれていることもあるでしょう。成長したことも、うまくいかなかったことも1年1年を積み重ねていくことで、すべて将来の大きな成長・成功につながっていきます。2週間後には新しい1年が始まります。春休みには、新しい学年でどんなことをしたいか、どんなことができるようになりたいか、夢や期待を膨らませながら過ごしてもらいたいです。

最後に、皆さんが安全に、安心して春休みを過ごせるように、文部科学大臣からメッセージが届いていますので紹介します。

保護者や学校関係者等のみなさまへ

厚生労働省・警察庁の統計によると、令和5年における児童生徒の自殺者数（暫定値）は507人と高い水準であり、特に女子児童生徒の自殺者数は、前年に比べて大きく増加したことが分かっています。また、学生の令和5年における自殺者数（暫定値）は407人であり、児童生徒、学生ともに大変憂慮すべき状況にあります。

新年度には児童生徒等の環境が大きく変化することもあり、この時期には、不安や悩みを抱える児童生徒等が増えることが考えられます。

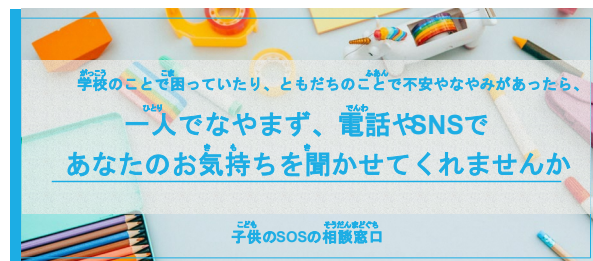
保護者や学校関係者、地域のみなさまにおかれましては、以下のような児童生徒等の態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただき、不安や悩みの声に耳を傾けて適切に受け止めていただくとともに、学校、家庭、地域、警察や医療機関などの関係機関等で緊密に連携し、不安や悩みを抱える児童生徒等が孤立することのないよう、地域全体で支援していただきますようお願いいたします。

（自殺直前のサインの例）

- ・ これまでに関心のあった事柄に対して興味を失う
- ・ 成績が急に落ちる
- ・ 注意が集中できなくなる
- ・ 身だしなみを気にしなくなる
- ・ 健康管理や自己管理がおろそかになる
- ・ 不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える

電話やメール、ネット等の相談窓口

（リンク先には学校や警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。）



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

令和6年2月
文部科学大臣 盛山 正仁